

医学研究実施に関するお知らせ

金沢医科大学大学院

(部門名) 腫瘍病理学 (氏名) 相川あかね

私たちは「結腸直腸癌における極性マーカーおよびシグナル伝達分子の発現と予後との相関についての臨床病理学的検討」という医学研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

研究課題名

結腸直腸癌における極性マーカーおよびシグナル伝達分子の発現と予後との相関についての臨床病理学的検討

研究の意義・目的

「低分化胞巣」と呼ばれる極性の乱れた細胞塊や、極性の逆転した微小乳頭癌はリンパ節転移が多く、予後不良であることが知られている。しかし低分化胞巣や微小乳頭癌の極性がなぜ乱れるのか、なぜリンパ管浸潤しやすいのかについては未だ解明されていない。細胞生物学分野では、低分子量 G 蛋白質 RhoA の恒常的活性化により上皮細胞の極性が逆転することが知られているが、外科病理学分野において、実際の腫瘍細胞での極性の乱れや逆転に RhoA の経路が関連していることは証明されていない。よって今回の研究では、金沢医科大学病院にて手術された結腸直腸癌の残存するブロックを用いて、免疫組織化学的に極性マーカーの分布や細胞内シグナル分子の染色性を検討し、極性の逆転や RhoA 経路と脈管浸潤やリンパ節転移、遠隔転移との相関の有無を検討する。

研究の対象者・研究期間

本研究では、200名に参加していただく予定です。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2019年3月31日まで

調査期間・対象者：2008年1月1日～2017年3月31日までに当院で結腸癌、直腸癌の手術を受けられた方

研究の方法・研究に用いる試料・情報の種類

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に結腸直腸癌で手術された患者さんの摘出された結腸直腸癌の組織、病理診断結果、病理検体番号、カルテ番号、年齢、性別、手術後の経過等を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

研究機関

金沢医科大学

研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

金沢医科大学大学院 腫瘍病理学 相川 あかね
住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1
電話：076-286-2211（内線 5341）

研究責任者

金沢医科大学大学院 腫瘍病理学 相川 あかね

2017年6月13日作成